

学校だより



ふれあい

真実求めん からだ鍛えん 心正さん

令和5年12月22日 NO. 7

水戸市立第五中学校

2学期終了 大変お世話になりました

保護者の皆様へ

本日、令和5年度 第2学期の終業式を無事迎えることができました。

2学期の前半から続くインフルエンザの流行など、感染症対策は年間を通して気を緩めることのできない状況の中ではありますが、保護者の皆様のご理解・ご協力をいただき、概ね予定通り教育活動を実施することができました。

年末年始は、生徒にとっても自分の時間や、ご家族と過ごす時間が多くとれる期間です。ぜひ、生徒が家庭で過ごす時間を大切にいただき、よい年を迎えられますことを願っております。大変お世話になりました。

水戸市立第五中学校長 春原 孝政

今学期を振り返って

代表生徒の発表から

本日の終業式で、各学年の代表生徒が発表した作文を以下に掲載します。

「2学期の成果」 1年3組 石川 輝明

「無理だと思わないことが一番大事なことだと思います。無理だと思ったら終わりです。」

これは、今活躍中であるメジャーリーガー 大谷 翔平の格言です。

思えば今学期、無理かと思ったことが何度かありました。1つ目は歴史館や弘道館、千波湖を探索する水戸探訪です。行きはバスを利用しましたが、計画がうまくいかなかったため、帰り道はバスの路線が分からず、結局、偕楽園から五中まで歩きました。今では良い思い出です。始めは無理な試みだと思いましたが、歩いてみると木々の葉も秋の色付きで季節の移り変わりを感じることができました。また、水戸の街並みが、普段車から見る風景とはまるで別の風景で、改めて水戸の街がこんなにも広いものかと感じ、今では楽しい、良い経験となりました。

2つ目は、部活動です。私はテニス部に所属しており、新人戦では1回戦敗退という苦い思い出が残ってしまいました。私はその悔しさをばねに、普段の練習からサーブの動き、立ち位置の確認、足を動かすことを意識して取り組みました。すると、これまで取れなかった球が取れるようになり、サーブも安定して入るようになりました。さらに、水戸市体育祭市民競技大会では初めて勝つことができました。これも無理だと思わず、真剣に練習に取り組んだから結果が出てきたと確信し、自分でも日に日に上達していると実感しました。

「無理だと思わなければ、何かを生み出すきっかけをつくれる」と分かった事が、私にとって2学期で得た成果です。



「2学期を終えて学んだこと」 2年3組 小松澤 正雄

長いようで短かった2学期が、あっという間に終わり、明日から冬休みに入ります。振り返れば、この2学期は人間として成長できた機会がたくさんありました。

まず、生活を根本から見直すきっかけになる出来事がありました。それは、タブレットの使い方指導を受けたことです。これを機に、先生方や家族から、一度生活を



見直したほうが良いとの話をいただきました。この件を、自分のこれからの生活について考え直すチャンスととらえて、生かしていきたいです。

次に、中央委員としての活動についてです。僕は、前期も中央委員だったので、後期はやりたくないつもりでした。ですが、クラスの推薦という形で後期も中央委員になりました。個人的にはやりたくなかったのですが、常時活動も徐々に適当になっていきました。ですが、前述した出来事のあと、クラスのリーダーとしてやるべきことと責任を再確認し、「やることになったからには、しっかりやりきる」と思うようになりました。これからは、クラスのために率先して声をかけたり、活動したりしていきたいと思います。

3つ目は合唱コンクールです。僕は指揮を担当しました。はじめは緊張感もなく、僕もクラスのみんなと、ただ何となく練習をしていたので、賞を取るなんて夢のまた夢といった感じでした。ですが、番場先生がクラスの問題点を指摘してくださった後、少しずつクラスの雰囲気は良くなり、真面目に練習をする人が増えてきました。僕も指揮者としての自覚を持ち始め、クラスをまとめたと思う気持ちが強くなりました。最終的に賞を取ることはできませんでしたが、仲間たちと協力して1つの目標に向かって努力することの素晴らしさを実感する、良い機会になりました。

この2学期は、いろいろな失敗をして、先生方やいろいろな人に心配をかけてしまいました。けれど、その失敗の数だけ学びを得ることができました。ですが、現状にとどまるのではなく、その得た学びをいかにこれからの生活に活かしていくかが勝負だと思うし、これからも客観的に考えていけると良いと思います。

3学期はまとめの時期です。今を越える自分になりたいと思います。

「3年生として」 3年3組 豊田 賢太郎

僕には、2学期に頑張ったことが2つあります。

1つ目は、合唱コンクールです。最初は声が出なかったり、音がずれていたり課題も多く、クラスが上手くまとまりませんでした。しかし、昼休みに外で練習したり、音のとり方や歌詞についてみんなと何度も話し合ったりしていく中で、改善することができました。クラス全員で高みを目指し、鼓舞し合いながら練習を重ねた日々は、忘れられない思い出です。そして、クラスが一丸となって挑んだ本番では、一人一人が全力を出し、金賞という目標を達成することができました。とても嬉しかったです。



2つ目は、学習面です。正直に言うと、僕は勉強が嫌いです。しかし、部活動を引退し、受験生としての自覚が芽生えてきました。それまではあまり取り組んでいなかった自主学習を、平日5時間以上行うようになりました。学習を継続したことによって成績は徐々に上がり、授業に対しても主体的に取り組むことができるようになりました。

僕たち3年生にとって、冬休みは受験前最後の追い込み時期です。今まで以上に勉強に力を入れ、限られた時間を有効に使っていきたいです。また、体調面についてもしっかり管理し、健康的に過ごして、冬休みを有意義なものにしたいです。

受験に対しては、最後まであきらめずに全力で取り組んでいきたいと考えています。僕は今まで、全力で何かをやるということがあまり得意ではありませんでした。しかし、部活動や体育祭、合唱コンクールを通して、全力で物事に取り組むことの楽しさを知りました。また、僕が尊敬する先生の「終わりがダメだったらすべてが台無しだ」という言葉が、僕の心に残っています。中学校生活で学んだことを最大限に生かし、勉強も最後まで全力で取り組んで、有終の美を飾ることができるよう努力していきます。そして、晴れ晴れとした気持ちで卒業できるよう、水戸五中で過ごす残りの日々を大切にしていきたいです。